



THE Y'S MEN'S CLUB OF SAPPORO  
CHARTERED ON NOVEMBER 21, 1955

2019年11月

c/o YMCA  
MINAMI 11 NISHI 11  
CUO-KU SAPPORO  
〒064-0811  
011(YMCA561)5217

# 札幌クラブ

The Service Club of YMCA  
The International Association of Y's Men's Clubs

## ワイズ理解・ファミリー・ファスト

### — 主 題 —

国際会長	「Building today for a better future」	Jennifer Jones (オーストラリア)
アジア会長	「Action」 (アクション)	田中 博之 (東日本)
東日本区理事	「勇気ある変革 愛ある行動」	山田 敏明 (十勝)
北海道部部长	「日々新たな者としてYMCAと共に歩もう」	宮崎 善昭 (北見)
札幌クラブ会長	「手を取り合って」 (Let Us Cling Together)	伏木 康 (札幌)

### 札幌クラブ役員

会長	伏木 康
書記	柴田 伸俊
会計	秋葉 聡志
直前会長	柴田 伸俊

## 今月のことば

『得られないのは、願い求めないからで、願い求めても、与えられないのは、自分の楽しみのために使おうと、間違った動機で願い求めるからです』  
ヤコブの手紙・4章の2~3節 中田靖泰選

## ワイズメンズクラブとYMCAと私

担当主事 北川 佳治



この7月より札幌ワイズメンズクラブの担当主事 (YMCAとの橋渡し役) に仰せつかりました。私は北海道教育大学を卒業後、2004年より北海道YMCAに入職し、以来ウエルネスセンター (スポーツ部門) にて勤務しております。

当初は、学校教育にてスポーツの価値を普及していこうと考えていましたが、縁あって、北海道YMCAで社会教育としてのスポーツに携わってきました。幼少年から成人の方までスポーツを通して、学校教育では伝えられない健康・教育・楽しさ・生きがい等の価値を幅広く伝えてこられたこと、また、多様な世代の方々と接せられたことは、私の中で貴重な経験と大切な宝物となっております。

そのようにYMCAで素晴らしい時間を経てきた私ですが、恥ずかしながら、YMCA入職時は、YMCAのことについて、ほとんど無知でした。正式名称、Young Men's Christian Association (キリスト教青年会) であるYMCAは、キリスト教の精神を、様々な奉仕活動や各種プログラムを通じて世の中に普及していく世界的な団体です。振り返ると、はじめ

の上で、YMCAスタッフとして、何が大切なのか、十分には理解できていませんでした。

そのような折に、各種行事において、ワイズメンズクラブの方々が様々なサポートを行っていただいている姿を拝見しておりました。ワイズメンズクラブは、世界122カ国、約3,000万人の会員から成るYMCAをサポートいただいているNGO団体です。札幌圏のワイズメンズクラブは、現在、札幌クラブと札幌北クラブの二クラブがあります。その二クラブが、札幌YMCAの通年行事において、物心両面のサポートをくださっております。そのサポートは、完全なる奉仕活動となっており、YMCA (会員) のためにと、多大なるご協力をいただいております。その姿を拝見した時、「キリスト教の精神」の意味、つまり、YMCAスタッフとして大切にすべきもの、が見えました。

ワイズメンズクラブには、『ワイズの信条』という5箇条の言葉があります。その中に、「自分を愛するように、隣人を愛そう。」「青少年のために、YMCAに尽くそう。」「社会には奉仕第一を旨としよう」とあります。誰かのために、何かのために、自分ができることを考え、それを行動に移していくことが、YMCAに関わる者としての核心となることを、ワイズメンズクラブの皆さんから教わりました。これからの私の役目として、ワイズメンズクラブとYMCAとが、更に強固な絆によって繋がり、関わる皆さんがより一層良くなっていくよう、微力ながら尽力して参ります。

2019年10月例会  
出席報告

在籍会員 8名 例会出席 6名 メネット 0名 コメント 0名 メーキアッパ 0名  
ゲスト 4名 ビジター 0名 計 9名 出席率 75%

## 札幌ワイズメンズクラブ 2019年11月例会

日時： 2019年11月19日(火) 18:30~20:30

場所： 北海道 YMCA 1012 室

札幌市中央区南 11 条西 11 丁目

Tel. 011-561-5217

会費： 1,000 円

### プログラム

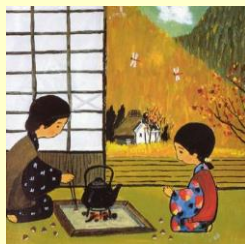
- |                 |          |
|-----------------|----------|
|                 | 司会 柴田 伸俊 |
| ① 開会挨拶          | 会長 伏木 康  |
| ② ワイズソング・ワイズの信条 | 全員       |
| ③ 今月の聖句         | 中田 靖泰    |
| ④ 誕生日           | なし       |
| 結婚記念日           | なし       |
| ⑤ 卓話            |          |
| アンガーマネジメントについて  |          |

情報大学 医療情報学部  
医療情報学科特任教授



蔵本 信比呂 先生

- ⑥ 諸報告・YMCA報告  
⑦ 今月の歌



「里の秋」

- ⑧ 閉会挨拶 会長 伏木 康

何故この聖句を 中田 靖泰

求めよ、さらば與へられん。尋ねよ、さらば見出さん。門を叩け、さらば開かれん。すべて求むる者は得、たづぬる者は見いだし、門をたたく者は開かるるなり。

「うそだよな。現実にはどんなに求めても与えられないし、どんなに叩いても開かれないことの方が多いよな」と思った人は多いと思います。

その個所だけではなく、その前後を読めばイエスは人間の恣意的な願いをすべて聴くということではないということが分かると言われています。正しく求めるというのは難しいことですね。

## 札幌ワイズメンズクラブ 10 月例会

日時： 2019年10月15日(火) 18:30~21:00

場所： 北海道YMCA 1012 教室

出席者： 秋葉、北川、柴田、中田、伏木、宮崎  
ゲスト(卓話者) 太田、佐藤、廣、佐藤 計 9 名  
北海道 YMCA の看板海外支援事業「ヴェトナム・ボランティア・ワーク」が今年も行われた。YMCA 専門学校から参加した太田千裕さん、佐藤心愛さん、廣洋佑君の 3 名が出席し、初めての海外ボランティアでのショック、感動、学びを語ってくれました。(p.3 参照) 引率者の佐藤雅一担当主事が締めくくってくれました。



## 北海道部 2020 年新年合同例会

日時： 2020年1月12日(日) 17:00~19:00

場所： レストラン「ケーダッシュ」 札幌市

中央区来た 2 条西 3 丁目 12 日 1

正門館ビル地下 1 階

☎ 011-252-9755

会費： 7,000 円



▼ 司長のいさづつ

▼ 来賓あいさつ

▼ ピアノ演奏



▼ 会食

▼ 各クラブ活動報告

▼ その他



ホストクラブ： 札幌北ワイズメンズクラブ

## ベトナムボランティアワークに参加して

北海道 YMCA 専門学校 2年 佐藤 心愛

今回ベトナムボランティアワークに参加した理由は、ボランティアに興味があり良い経験になると思ったからです。

まず最初に戦争証跡博物館に行きました。事前学習でベトナム戦争について少し調べていましたが、ネットで調べただけではわからない当時の写真や映像が展示されており、残酷でとてもまじまじと見ることはできませんでした。戦争自体は終わっても人々の心の傷は消えないし、枯葉剤の影響を受け今でも苦しんでいる人がたくさんいるということを知りました。

次の日から5日間の教室建設ワークが開始しました。強い日差しの中での作業でしたが、各自水分・休憩を取りながら仕上げていきました。日本人は几帳面と言われている細かい部分まで手を抜かず作業し、これから使う子供たちのことを考えながらみんなで力を合わせて頑張りました。

地元住民の自宅訪問では、いろいろなお話を聞きました。その家の男の子バオ君が将来学校の先生になって働いたお金でお母さんをお世話したいと言っていて、その夢が叶うといいなと思いました。初日に見たホーチミンの街とベンチュの田舎の暮らしはだいぶ違うもので、このような苦しい思いをして暮らしている家があるのを知りました。

障害児施設の訪問ではちょうどお昼ご飯の時間だったので食事しているところも見学させていただきました。その施設では目が見えない子、自分で食事することができない子、寝たきりの子、はっきりと喋ることができる子など人によって障害のレベルは様々でした。学生ボランティアの子に通訳してもらって少しだけ子供たちと話すことができました。帰る時玄関にその日来ていた別の団体から寄付されたたくさんのダンボールが積まれていて、そのような人々の支えがあり成り立っているのだと思いました。

私がベトナムで1番良かったと思ったのはごはんです。中でもワーク中の地元の方が作ってくれるお昼ごはんが格別で、作業の疲れなど忘れるくらいおいしかったです。ベトナム料理は日本料理と味付けが似ていて、くどくなく食べやすかったです。日本にはないものが多く、ペーパーライスを使った料理やヌクナム、モンスターみたいな見た目の果物などベトナムに来て初めて口にするものばかりでした。

留学や旅行以外で外国に行くのは初めてでベトナム自体も行ったことがなく、最初とても不安でした。ですが観光では経験できない、地元の家庭に訪問して話を聞いたり障害者施設の訪問、カゴ作り、地元の方の手作りの料理などボランティアワークならではの貴重な経験がたくさんできました。

私の退屈な夏休みの10日間がかけがえのない思い出となりました。



(左から、太田、佐藤、廣)

## 教室建設ボランティアを通して

北海道 YMCA 専門学校 2年 太田 千裕

真夏の真っ只中、私は10日間のベトナム教室建設ボランティアワークに参加しました。今回が初めてのベトナム、そして海外ボランティア。その全てが新鮮で、興味深いものばかりでした。

滞在中は、実に様々な場所に訪問させて頂きましたが、特に印象に残ったのは、貧しい家庭へのお宅訪問でした。ベトナムは前例のない勢いで経済発展が進んでいる国ではありますが、その一方で、まだ所得や生活格差があるのが事実です。

しかし、そんな中でも、子ども達は精一杯、自分の夢や目標を持ち、がんばって勉強をしている。日本でこんなに学びに飢えている子ども達はいるのだろうか。そう考えた時、当たり前のように学校に行き、特別なことではないかのように、真新しい鉛筆とノートを使って勉強する。それがどんなに恵まれていることなのかを、考えさせられました。

ワークでは、素人ばかりの集まりで、本当にしっかりとした教室に出来上がるのかという不安もありましたが、何年もこの活動を続けてきている先輩方の技術、現地の大工さん達の協力もあり、最後には思っていた以上に素晴らしい教室が出来上がり、達成感と嬉しさが込み上げてきました。その一方で、教室に運び込まれた、たった4つの今にも壊れそうな机を見て、此処だけではなく、世界にはこうして学校のない場所、学校に通えない子供たちが大勢いるのだと言う現実を見せつけられたかのように感じました。今回のワークで出来たのは、たった1つの教室かもしれませんが、しかし、教室は今後、約20年間使われ、そこで、これからの未来を担っていく沢山の子ども達が勉強する場所になると考えると、その瞬間に立ち会えたことを嬉しく思ったのと同時に、活動を支援し続けて下さっているベトナムの方達に心から感謝し、活動を継続している関係者の皆様にも、頭が下がる思いでした。

ワーク中は、子ども達が勉強や通学したりする姿を見ることが出来ました。いつもは夏休み中との事ですが、今回はたまたま新学期が始まったタイミングだった事もあり、沢山の子ども達とも交流する事が出来ました。折り紙で風船を折ってあげたり、シャボン玉で遊んだり、日本のお金を見せてあげたりしました。すると、お礼にと風船やお菓子をくれました。そんな子供たちの気持ちをとても嬉しく思いました。

ベトナムでの経験は、日本にいただけでは知る事の出来なかった現状を自身の目で見て、感じる事が出来る貴重な経験になったと思います。どの国にも、思わ

ず目を背けたくなるような問題や現実があるものです。しかし、その事から決して目を逸らさず、真実を受け入れ、そして解決するためにはどうしたらいいのか、考えていくべきだと思いました。

# YMCA ニュース

担当主事 **北川 佳治**

## ①北海道 YMCA 会員大会、北見 YMCA50 周年・joy (保育園)30 周年 記念式典(報告)

去る11月3日(日)に北見芸術文化ホールにおいて、北海道 YMCA 会員大会並びに北見 YMCA50 周年・joy30 周年記念式典が行われました。

第1部の会員大会では、北見の二本松能敬氏と伊藤悠紀子氏に「奉仕の書」が贈呈されました。また、「奉仕賞」では、札幌リーダーの宮崎夢氏・林周大朗氏、北見リーダーの藤谷洋子氏・拓未氏(親子)が受賞しました。

第2部の50周年記念式典では、「北見 YMCA50 年のあゆみ」をスライドショーで振り返りました。また、北見ワイズメンズクラブ・北見東ロータリークラブに感謝状が贈呈されました。幼少年会員による発表では、ジョイフルボイスクラスとヒップホップダンスクラスのを盛り上げてくれました。メンバーが「YMCA」の曲に合わせ式



第3部では、道外よりゲストでお招きしました「TAP DO!」のタップダンスとパーカッション、大道芸を組み合わせた素晴らしいステージが記念式典のフィナーレを盛大に飾ってくれました。

この記念式典で、会員の皆さんと50年の歴史を振り返り、これからも会員同士のつながりを大事にしたYMCAでありたいと感じた1日となりました。

## ②札幌 YMCA 国際協力バザー(御礼)

去る10月13日(日)に札幌 YMCA 国際協力バザーが実施されました。今年も多くの皆様、バザーの趣旨を理解していただき、たくさんのチャリティーのご協力を賜りました。ご理解、ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。



## ③札幌 YMCA 専門学校英語スピーチコンテスト (報告)

去る11月2日(土)、北海道立道民活動センターで、専門学校の英語スピーチコンテストが行われました。今回のテーマは、「Social Issues」で、「Elderly PeopleDriving」「LGBTQ Issues」など、24名学生がそれぞれ興味を持った事柄について発表しました。

来場者として、本校の講師や卒業生、保護者、また入学を希望している高校生の方が足を運んでくれました。



尚、大会で1位となった学生は、12月8日に東京で開催される全国専門学校英語スピーチコンテストに本校代表として出場します。

## ④ラッコ・マンボウ水泳発表会 (予告)

11月23日(土・祝)にラッコ・マンボウ水泳発表会が行われます。この発表会は、発達に障がいをもったメンバーが、日頃励んでいる水泳の練習の成果を発表する場として毎年行われています。初めて発表会に参加するメンバーも、毎年参加しているメンバーも、ボランティアリーダーとスタッフ共々全力で応援していきます。



## ⑤世界YMCA・YWCA合同祈祷週 (募集)

前回お知らせしておりました、11月10日(日)～16日(土)の期間で世界一斉に行われる世界YMCA・YWCA合同祈祷週について、札幌地区特別集会の日程が決まりましたので、お知らせになります。今年のテーマは、「ジェンダー平等にむけて、若い女性たちが権力構造を変革する」です。このテーマのもと、以下のスケジュールで特別集会を行いますので、皆様もお越しいただければ幸いです。

<札幌地区特別集会>

日時 2019年11月15日(金) 18:30～20:30

場所 札幌 YMCA

奨励 清水 和恵 牧師(日本キリスト教団発寒協)

講師 西 千津 さん(札幌市に人種差別撤廃条例をつくる市民会議)

申込 YMCA (561-5217) まで

締切 11月14日(木) 18:00迄

メンバーも、毎年参加しているメンバーも、ボランティアリーダーとスタッフ共々全力で応援していきます。

## 今後の日程

11月19日(火)	11月例会 YMCA1012 教室
11月23日(土)	ラッコ・マンボウ水泳発表会
11月26日(火)	事務会 (YMCA 総主事室)
12月17日(火)	移動例会 (?) 決定次第連絡
12月19日(火)	安田文子会員コンサート
1月12日(日)	北海道部新年合同例会 (K ')
1月28日(火)	事務会 (YMCA 総主事室)

## ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のために YMCA に尽くそう。
3. 世界的視野を持って、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう。